

## II 研究の内容

低学年  
分科会

### 実践事例

### —2年— 体づくりの運動遊び「うごきのたからばこ」

#### 1 学習課題を見いだすための手立て

自分の学習課題を見付けるための教師の支援、指導の工夫

○スモールステップでの運動の例示 ○教師の言葉掛け集の作成

自分に合った動き方や自分にできそうな動き方を学習課題に設定し運動遊びができるよう「言葉掛け集」を作成し、児童への言葉掛けを工夫した。また、スモールステップで運動遊びを例示し、動きのレパートリーを増やせるようにした。

#### 2 粘り強く解決できるようにするための手立て

主体的に運動に取り組むための学習過程の工夫

○学習意欲を高める学習ゴールの設定

児童の活動意欲が高まるような学習ゴールを設定することで、児童が主体的に運動遊びに取り組むことができるようにした。目的をもって運動遊びに取り組むことで、中、高学年で自己の課題を見だし、粘り強く運動に取り組もうとする素地を作っていくようにした。

### スモールステップの設定

#### スモールステップでの運動の例示

「バランスの運動遊び」では、学習を進める中で、児童がいろいろな動きを獲得できるようにした。

- ①「だるまさんがころんだ」の掛け声でポーズを5秒間保つ。
- ②ポーズを保ったまま友達に体を押されても倒れないようにバランスをとる。
- ③「だるまさんがころんだ」の掛け声で違うポーズを3回連続で行う。
- ④3人そろえて「だるまさんがころんだ」で違うポーズを3回連続で行う。



### 教師の言葉掛けの工夫

#### 教師の言葉掛け集の作成

どのように動いてよいか分からない児童、友達の良い真似で満足している児童、自分で動きを生み出している児童等、児童の様子に合わせた教師の言葉掛けをあらかじめ用意して授業に臨んだ。

今の動きは  
どうやったの  
か教えて。

友達の動き  
のカギは何  
だと思う？

バランスを  
とるには  
手の動きも  
大事だ！



### 学習過程の工夫

#### 学習意欲を高める学習ゴールの設定

「うごきのたからばこ」を開いて多様な動きを見付けていく活動を設定した。運動のこつや動き方の説明を「たからばこのカギ」として集め、カギが集まることで宝箱を開けていく。児童は宝箱を開けることを楽しみに「カギ」を見付けながら運動に取り組んだ。単元のまとめでは、自分の運動の様子をタブレットに記録し、自分だけの「うごきのたからばこ」を作成した。



### ◎成果と△課題 <講師 国士館大学文学部教育学科教授 細越 淳二先生>

- ◎「たからばこのカギ」を見付け、「うごきのたからばこ」を開けることを楽しみに、主体的に活動できた。
- △意欲をより高めるために、場や条件を少しだけ変えながら動きのレパートリーを増やす必要があった。
- △達成感を味わわせるために、挑戦課題と達成基準の両方を設ける必要があった。